

第3回 つくる人。まもる人。 ～地域を支える建設業に携わる人たち～

大野建設(株) 齋藤孝一郎さん、小林翔太さん

「道路の維持で地域貢献を実感」

【はじめに】

松本建設事務所管内では、道路の維持補修業務を管内8地区の建設特定企業体と委託契約し、対応しています。

業務の内容は道路上に発生した穴の修繕や、側溝等の構造物の補修、路面の清掃、草刈りなど多岐に亘っています。特に、道路への落石や、道路の陥没など、放置することによって通行車両に危険が生じるような場合には、建設事務所からの依頼により、休日夜間を問わず現地に駆けつけ、迅速な対応をしていただいています。

企業体の皆さんは、それぞれ「責任感」と「使命感」を持って受け持ち分担の路線の対応にあたっていただいています。

【現場紹介】

ここでは、本年5月に上高地へのアクセス道路である主要地方道 上高地公園線 大正池横 で発生した落石への対応を紹介します。

当路線は上高地への唯一のアクセス道路であり、マイカー規制により通行車両は基本的にバスとタクシーです。落石が発生した場所は、バスのすれ違いが可能な数少ない場所です。

平成29年5月13日(土)

午前8時頃 落石発生 計0.5～1.0mの巨石15個程度が道路上に散乱
幸いバス、タクシー等の通行車両に接触することはなかった。

午前8時30分 バス会社から建設事務所に通報あり
当該路線の担当会社である株式会社大野建設に応急対策を依頼

午前10時45分 建設事務所職員、大野建設現地到着

午後1時～ 仮設の落石対策としての大型土のう設置開始

土曜日に発生した落石であるにもかかわらず、迅速な対応をしていただきました。

その後、夏の観光シーズンまでに、車両のすれ違いができるよう急ピッチで落石防護網の設置工事を行いました。

【インタビュー】

今回、維持管理業務として迅速な対応をいただいた(株)大野建設の齋藤孝一郎さんに

①「道路維持管理業務に携わって」

その後の工事に携わっていただいた小林翔太さんに

②「土木の仕事の魅力」、③「土木の仕事を目指した理由」、④「今後の目標」についてお聞きしました。

(次ページへ)



大野建設(株) 齋藤孝一郎さん、小林翔太さん

① 弊社が担当している道路維持管理業務路線は国道 158 号の旧安曇村地区(他の J V 構成員と共同)及び県道上高地公園線です。

この路線は山岳道路で降雨時の落石、強風時の倒木、積雪時の雪崩などの季節ものをはじめ、側溝、舗装、ガードレール等の修繕から動物の死骸片付けまで多種・多様です。特にこの路線で多いのは落石であり、落石のサイズによっては大事故に繋がり、大変危険であるため、その対応も大規模、長期化する場合があります。

当然ながら道路維持管理業務は突然発生します。特に休日・夜間の業務は作業人員の確保に苦慮します。「家族団らんの時間なのに・・・」や「もう晩酌して、床に就いたのでは・・・」等は緊急の出勤連絡時に何時も思う事です。それでも快く出勤してくれる作業員の皆さんにはいつも感謝しています。

道路維持管理業務に携わる者は「地域を支える建設業としての自覚と責任」を僅かでも持っていないと対応出来ないし、「やらされている」では事故にも繋がります。

業務が完了して平常時に戻った時に「少なからず地域に、貢献できた」と安堵し自己満足しているのは私だけではなく、各地区 J V 構成員の皆さんも同じではないでしょうか。

② やはり自分達で作ったものが、形として残り、人々の生活の助けとなれることだと思います。作業中は通行する方に「ごくろうさま」「大変だと思うけど頑張ってるね」など声をかけて頂くこともあり、頑張ろうと思えます。

そしてなんといっても完成した時は感動します！現場で苦勞すればするほど感動は大きいと思います。これが癖になり、のめり込んでいきそうです(笑)

③ 特に土木の仕事について意識したことはなかったのですが、父親が土木関係の仕事をしており、昔父親が「これは俺が作ったんだよ」と道路を走っている最中によく話をしていました。そんなことや友人との縁もあり、自分でものを作るということに興味を湧いてきて、現在の職に就くことになりました。

④ まだまだ、土木の仕事を始めて間もないですが、一日でも早く先輩方のように、完璧な現場管理・施工管理ができるよう頑張りたいです。

もちろん現場の出来栄えや見栄えも重視し、建設業に携わっていない方にも、「すごいな」と思ってもらえるものを作っていきたいです。

